



森林の多面的機能

森林は温室効果ガスを吸収するほか、森の土は雨を染み込ませて水を蓄え、洪水や土砂災害を防ぐ役割を果たしており、これを「森林の多面的機能」といいます。

森林が多面的機能を発揮するには、その森が健全でなければいけません。近年整備を行うことが困難な森林が増加し、多面的機能が十分に発揮されない森林が増えています。



森林が抱える課題

放置林の整備や適齢期を迎えた立木の木材利用が課題であり、今後は「植えて、育てて、切って、活用する」という適切な林業のサイクルを循環させていく必要があります。



未来へつなぐ 森林を守ろう

上毛町の森林は、豊かな生態系を育み、自然災害を抑えるなど、生活を支える大切な存在です。

森林の多様な恵みを理解し、豊かな自然を私たちの手で守り、未来の子どもたちへつないでいきましょう。

人々の暮らしに役立つ森林の働き



「伐って、使って、植える」森林の循環利用



出典 林野庁ホームページ「平成30年度森林・林業白書」日本の森林・林業の今

森

森林とともに生きる



上毛町の取組



森林の整備

町有林については、町の森林経営計画に基づき、間伐(日光が充分当たるように密集した立木の一部を伐採する間引き作業)や下刈(植栽した苗木に日光が充分当たるように周囲に生える雑草などを刈り払う作業)を行っています。

長期的に手入れがされていない私有林については、福岡県の事業である荒廃森林整備事業を活用した間伐を行っており、平成31年4月に施行された森林経営管理法に基づく意向調査の結果をもとに、荒廃森林整備事業の活用を進めています。

また、国から譲与された森林環境譲与税を活用して作業道を新設するなど、森林整備の促進を図っています。



木材の有効利用

上毛町では、伐採した立木を公共施設の内装材として有効利用し、施設利用者が木の温もりを感じることができます。

また、森林整備の促進に繋がる町産材を活用できる制度づくりを進めています。

いつも目にする緑の景色。この先人たちが植えて育ててきた森林は、私たちの生活と深く結びつく大切な資源であり、様々なかたちで恩恵をもたらしています。

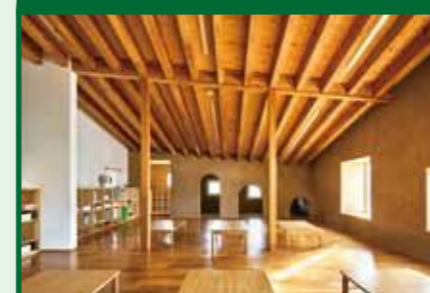
森林整備の施業前と施業後



上毛町立体育館ループアリーナ



南吉富放課後児童クラブ



上毛町サテライトオフィス [THE THINK FACTORY, KOGEI]

